

2010年度 社団法人 糸魚川青年会議所 事業計画・報告書

協議[] 審議[] 中間報告[] 決算審議[] 報告[○]

議案名	いざ！南蛮エビ日本一まちへ！！	担当副理事長	専務理事
ファイル名	まち室10例会報告15	岩崎 智	木島 一
文書作成者	伊井 浩太	2010/12/05	2010/12/06

上程スケジュール

7月	理事会	2010年	7月	20日	審議・協議・報告
8月	理事会	2010年	8月	20日	審議・協議・報告
月	理事会	2010年	月	日	審議・協議・中間報告
12月	理事会	2010年	12月	7日	決算審議・協議・報告
12月	理事会	2010年	12月	7日	審議・協議・報告

(委員会名)	(委員長氏名)
ハイパーレジャー創造委員会	伊井浩太
NEXTいといがわ発信委員会	恩田大士

1. [事業名] “いざ！南蛮エビ日本一のまちへ！！”

2. [事業実施に至る背景]

「たった一つの強烈な魅力」を創造し、それをより多くの人たちに発信することが重要だと考え、そのたった一つの魅力を「南蛮エビ」として活動展開してきました。

3月に糸魚川の行政、企業、団体の皆様へ、協働（協同）出来るまちづくりを提案し、たった一つの強烈な魅力「糸魚川南蛮エビ」を活用して、糸魚川を日本一のまちへと目指す決起集会を行いました。5月には、糸魚川市民の皆様への周知・愛着を目的として、市民の手により「糸魚川南蛮エビレシピ100選」を集め、「エビ1グランプリ」を開催しました。また、総来場者数12万人のたから市in旅フェアなどの事業のみならず、プロジェクトのさまざまな活動を、電波メディア（テレビ・ラジオ）、印刷メディア（新聞、雑誌、アピールカード、チラシ）、プロモーションメディア（着ぐるみやのぼり旗を活用しての街頭PR）、インターネット（HP、ブログ、ツイッター）などのさまざまなメディア媒体で発信してきました。

そこでNEXTまちづくり室では地元での認知、愛着へ力を入れ、これらの活動を発信し、さまざまな活動を通し、市内外での認知度は日に日にあがっている状況の中、観光の受け皿となる企業の盛り上がりが必要不可欠だと考え、具体的な戦略・戦術を駆使

して、糸魚川南蛮エビを目的として訪れる方々のニーズに応え、確実な交流人口の拡大に繋げるために、観光の礎となる受入体制の整備・受入態を整え、それらを発信、伝えようと考え本事業計画に至りました。

3. [事業目的]

いざ！日本一の南蛮エビのまち糸魚川を目指して、確実な受け入れ態勢の礎を築きあげるとともに、この礎を発信することにより交流人口の拡大につなげる。

4. [実施日時] 2010年 10月 13日(水) 19:00~20:55

5. [実施場所・会場] ビーチホールまがたま ホール棟

6. [決算総額]	<u>¥688,270- (¥745,000-)</u>
[ハイパーレジャー創造委員会]	<u>¥385,820- (¥432,000-)</u>
[NEXTいといがわ発信委員会]	<u>¥302,150- (¥313,000-)</u>

7. [外部協力者・協力種別]

資料④ 例会報告書 [外部用] (添付) (参加者一覧含む)
例会報告書 [日本JC・HPに掲載] (添付)

8. [参加員数計画／結果]

総員数(計画) 150名 (内訳) 委員会 23名、ロム46名、その他81名
総員数(結果) 101名 (内訳) 委員会 19名、ロム30名、その他52名

9. [実施組織・体制]

実施統括責任者 岩崎 智 (副理事長兼NEXTまちづくり室室長)
実施委員長 伊井浩太 (ハイパーレジャー創造委員会委員長)
恩田大士 (NEXTいといがわ発信委員会委員長)
実施委員会 ハイパーレジャー創造委員会、NEXTいといがわ発信委員会
実施体制 NEXTまちづくり室 合同事業体制

10. [事業内容、及び、タイムスケジュール]

18:00 例会セレモニー
19:00 例会アワー
19:05 開会
19:06 理事長挨拶

- 19:14 糸魚川市長挨拶
- 19:20 泉田県知事お祝いレター
- 19:22 ○糸魚川南蛮エビプレゼン
※糸魚川南蛮エビが日本一の理由、市民の愛着
- 19:35 ○糸魚川南蛮エビ試食（寿司）
- 19:45 ○日本一の南蛮エビのまち糸魚川紹介PV
- 19:50 ○定款紹介（糸魚川産にこだわった店）
定款をクリアできる店舗への認定制度の紹介
- 19:55 ○漁協公認！糸魚川南蛮エビパンフレット認定式！！
小野参事様による認定証手渡し
認定証お披露目
- 20:10 ○市内パンフ設置箇所紹介
- 20:12 ○エビちゃん珍道中
※糸魚川のPR
- 20:25 ○猪又理事長による観光PRキャラとしてのタスキ贈呈
○エビちゃんの今後の観光PRキャラとしての位置づけ
「糸魚川＝南蛮エビ」「地産地消」→「食」「海」のPRキャラ（観光大使）
- 20:35 エビちゃんソング合唱
- 20:42 両委員長によるお礼
- 20:52 監事講評
- 21:25 第2例会（月徳飯店）会費 4,000円

1.1. [報告のポイント]

資料③ 10例会・検証チェックシート10 （添付）

1.2. [前回理事会・審議での質問・意見への回答・経過]

資料⑨ 前回理事会・審議での質問・意見への回答・経過04 （添付）

1.3. [前年度よりの引継ぎ事項]

1.4. [次年度（次回）への引継ぎ事項]

1.5. [本年度の工夫と期待される効果（検証）]

「南蛮エビのまち糸魚川」への意識の高い企業の方々に各店舗独自の南蛮エビプラン（商品）を創造して頂き、それらを厳選してパンフレットにする事により、糸魚川への「食」への魅力が更なる向上を期待できる。認定証制度の確立（価値）へ向けて動

くことにより、「糸魚川＝南蛮エビ」の確実な受け入れ態勢の礎となる。認定店の拡大による地域の盛り上がり、こうした活動がニュースソースとなり今後の発信につながる。参加店（市内協力店）や協力団体（戦略会議メンバー）には、糸魚川南蛮エビが日本一の南蛮エビであることを再認識してもらい、尚且つ外への発信説明を聞くことで、より日本一の南蛮エビに対する想いを強め、強力な協力店舗になることが期待できる。

16. [依頼事項]

17. [添付・配布（回覧）資料]

- 資料① 創造委員決算書 08 （添付）
- 資料② 発信委員決算書 07 （添付）
- 資料③ 検証チェックシート 10 （添付）
- 資料④ 例会報告書〔外部用〕 （添付）
例会報告書〔日本JC・HPに掲載〕 （添付）
- 資料⑤ 参加者向け御礼文 （添付）
- 資料⑥ 認定証 要綱 02 （添付）
- 資料⑦ 【パンフレット関連】
 - ⑦-1 パンフレット修正箇所 02 （添付）
 - ⑦-2 パンフレット （現物回覧）
- 資料⑧ パンフレット配布リスト〔市内・市外〕 02 （添付）
- 資料⑨ 前回理事会・審議での質問・意見への回答・経過 04 （添付）
- 資料⑩ 報告〔ハイパーレジャー創造委員会〕 01 （添付）
- 資料⑪ 報告〔NEXTいといがわ発信委員会〕 04 （添付）

18. [報告]

- 資料⑩ 報告〔ハイパーレジャー創造委員会〕 01 （添付）
- 資料⑪ 報告〔NEXTいといがわ発信委員会〕 04 （添付）

担当委員会・事業評価チェックシート

チェック項目	検証のコメント	評価 (3段階)
	委員会/副理事長・委員長・委員会メンバー	○ △ ×
実施日時、場所は適切だったか？	認定店の方々が参加しやすい曜日を設定し、さらに当日のその時間に来られない方向けに、前日のリハーサルへのお声がけもさせていただきました。また、事業内容をしっかりと伝えたいと考え、演出にこだわったので、ピーチホールまがたまを選びましたが、とても適切であったと考えます。	○
実施組織、体制は適切だったか	ハイパーレジャー創造委員会とNEXTいといがわ発信委員会のNEXTまちづくり室合同体制で行いました。実施体制としては適していましたが、委員会間の打ち合わせ不足がありました。委員会間や委員長間のコンセンサスをもっと取るべきであったと考えます。	△
参加人員計画に対する実績参加人員の割合は	総員数(計画)150名(内訳)委員会 23名、ロム46名、その他81名 総員数(結果)101名(内訳)委員会 19名、ロム30名、その他52名 67.3%	×
参加人員計画が適切であったか	計画段階で想定していた人たちは、事業目的に沿った対象者であったと考えます。創造委員会の活動を発信力のある方や、旅行代理店の方などに、また、発信委員会の活動を市内の飲食店や団体、行政の方々にお見せするという趣旨で、参加対象者を選択しました。	○
実施計画、スケジュールは適切だったか	例会へ向けての準備の都合を考え、上程スケジュールを1カ月前倒しで上程し、8月理事会で審議通過しました。しかし、例会準備に取り掛かるのが遅く、例会日が近づいてから動き出してしまい、結果として準備に追われてしまい、また、メンバーにも負担をかけてしまいました。	×
目的に沿った事業内容だったか	認定店の参加数や出席者数、そして出席者の反応や新聞報道などにより、「日本一の南蛮エビのまち糸魚川」への意識が向上されたかと思えます。認定店の方からのコメントによりまず「気を引き締めて、観光客を受け入れたい」という言葉を頂け、目的に沿った結果になったと考えます。	○
タイムスケジュールは適切だったか	リハーサルを何度も行ったことで、当日のスケジュールは計画通りスムーズに進行できました。限られた時間の中でも、しっかりとイメージングしていたので、伝えたいことを伝えることができたと考えます。また、室メンバーや多くの皆様よりご協力いただいたことで、時間内に終わることができました。	○
広報計画は適切だったか	参加案内文をもとに各方面(市内飲食店・市内関係団体・各メディア・旅行関係業者)に案内させていただきました。創造委員会が担当した認定店の参加店舗数は50店舗中43店舗にも上りましたし、市内行政や団体の方々からもご来場いただきました。しかし、発信委員会の部分で、メディア・旅行関係業者への案内方法に課題があったと考えます。テレビ報道についても、もっと趣旨をしっかりと伝えるべきであったと考えます。	
予算編成は適切であったか	会場設営費における差異が発生しました。計画の段階でもっと緻密にイメージを膨らませ、会場と綿密に打ち合わせを重ねておくべきであったと考えます。	×
安全計画が適切であったか	飲食を伴いましたが、会場の厨房をお借りし、衛生面に気を使いながら運営させていただきました。会場駐車場にはLOMメンバーより案内係を、ホール会場内では室メンバーよりホスト役を配置することで、安全面は適切であったと考えます。	○

社団法人 糸魚川青年会議所 10担当月例会

「いざ！南蛮エビ日本一のまちへ！！」

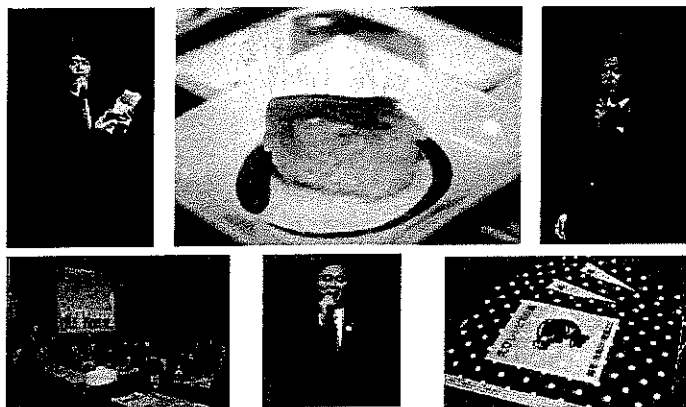
～ 報 告 資 料 ～

- [事業目的] いざ！日本一の南蛮エビのまち糸魚川を目指して、確実な受け入れ態勢の礎を築きあげるとともに、この礎を発信することにより交流人口の拡大につなげる。
- [実施日時] 2010年 10月 13日(水) 19:00～20:40
- [実施会場] ビーチホールまがたま ホール棟
- [事業主催] (社)糸魚川青年会議所 NEXTまちづくり室 ハイパーレジャー創造委員会 NEXTいといがわ発信委員会
- [外部協力] 糸魚川市、上越漁業協同組合、新潟県農林水産部水産課糸魚川駐在所、新潟県南蛮エビブランド化推進協議会、新潟県糸魚川地域振興局、糸魚川商工会議所、糸魚川市観光協会、能生町観光協会、青海町観光協会、糸魚川うまいもん会、(株)糸一印 糸魚川魚市場、糸魚川信用組合まちづくり推進室、新潟県立海洋高等学校、(株)三愛旅行社
(※「糸魚川南蛮エビ認定証」の発行にご協力いただいた行政、団体、企業)
- [参加者] 糸魚川市長 米田徹様、新潟県議会議員 小川和雄様、新潟県糸魚川地域振興局 井上雄二様、糸魚川商工会議所 副会頭 山岸美隆様、糸魚川市議会議員 田原実様、上越漁業協同組合 小野清隆、糸魚川市観光協会副会長 龍見和弦様、新潟県農林水産部水産課糸魚川駐在所 大江貢弘様、(株)糸一印糸魚川魚市場 金子英夫様、新潟県糸魚川地域振興局企画振興部地域振興課 松田晃様、糸魚川市交流観光課 高澤豊秋様、糸魚川市商工農林水産課 池亀正人様、(株)三愛旅行社 片山佐一様、糸魚川市観光協会事務局長 大久保峰生様、糸魚川商工会議所事務局長 北村雄一様、新潟県調理師組合糸魚川支部 並びに 糸魚川旅館組合 菅野博樹様、(社)日本青年会議所ローカルファースト確立委員会総括幹事 植村健二様、糸魚川ハイヤー協会 猪又眞澄様、糸魚川うまいもん会 月岡徳浩様、糸魚川信用組合まちづくりサポーターズ 五十嵐様、糸魚川ライオンズクラブ 大竹様、上越漁業協同組合 笠原様・磯貝様、株式会社リクルート 石井様・古川様・斉藤様、NPOくびきのサポートセンター 阿部様、ハッピー奴奈川 店 古畑様、ポッチャリーノ 広瀬豊様、まちの駅糸魚川ぶらっと 五十嵐哲夫様、シーサイド磯貝 磯貝様、笹倉温泉 内藤正則様、焼山温泉様、いっさく糸魚川奴奈川 店 竹之内様、ひすいの海 利根川様、まつもと一印かまぼこ店 松本りえ・さとみ様、ラーメンとん太蓮台寺PA店 山田たけし様、水沢六郎様、まるとも 斉藤様、(株)セーブオン様 神戸新二様、上越タイムス社糸魚川支局 石黒博様、毎日新聞社上越通信部 長谷川隆様、NST新潟総合テレビ 長谷川晴彦様、BSN新潟放送 太田志信様・掛橋哲史様、BSNラジオ新潟放送 湯浅みわ様、ふるさと料理研究会様、和風レストランきた川様、その他(社)糸魚川青年会議所会員 49名 (合計 101名)

[スケジュール]

- (1) 開 会
- (2) (社)糸魚川青年会議所 理事長挨拶
- (3) ご来賓ご紹介
- (4) 越後・糸魚川南蛮1エビプロジェクト概要説明
- (5) 日本最高峰の糸魚川南蛮エビ お寿司 実食
- (6) 日本一の南蛮エビのまち糸魚川紹介 PV上映
- (7) 糸魚川南蛮エビパンフレット説明、認定式
- (8) エビちゃん珍道中 PV上映
- (9) 閉 会

懇親会 ～第2例会～ 会場 月徳飯店2階



[事業を終えて...]

糸魚川地域における交流人口の拡大という目的をもった「越後・糸魚川南蛮1エビプロジェクト」が始動して10ヶ月の月日が経ちました。本例会においては、「糸魚川南蛮エビ」のブランド化を図るために、青年会議所のみならず、行政・団体・企業の方々からご協力をいただき、「糸魚川南蛮1エビ認定証」を発行することができ、認定店として50店舗の民間企業の賛同を得ることができました。今後は「糸魚川南蛮エビ」と、これらの認定店をより多くの観光客の方々に周知するにあたり、パンフレットの作成と周知活動に躍進したいと考えます。例会の進行においては、ほぼタイムスケジュール通りに進めることができました。ご来場の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。本例会を実施することで、糸魚川における観光の確実な受け入れ態勢の礎を築きあげることが出来たと実感しております。今後は、次年度にむけた『目標』を企業・団体・行政と連携、協働(協同)しながら共有して活動してゆきたいと考えます。お忙しい中のご来場、誠にありがとうございました。

既に各報道機関より新潟県内へニュースとして配信されております。 (新聞) 上越タイムス・毎日新聞 10月14日(木)



社団法人 糸魚川青年会議所

〒941-8601 新潟県糸魚川市寺町2丁目8番16号 (糸魚川商工会議所内)

TEL 025-552-9343 FAX 025-552-8860

パンフレットリスト

ジャンル	商品名	店名	写真	
切り抜き	味山井	寿司割烹 志乃	○	
切り抜き	南蛮エビちらし	栄泰し	△	アド
切り抜き	南蛮エビ丼	魚がし	×	岩崎
切り抜き	漁師の海鮮丼	漁師の寿司屋 傳兵	×	岩崎
切り抜き	南蛮えび丼	お食事処 漁火	×	岩崎
切り抜き	南蛮エビチラシ	すし活	△	アド
切り抜き	南蛮エビ沖漬丼	シーサイド磯貝	△	アド
切り抜き	南蛮えびちらし(甘えびちらし)	江戸前 重寿し	△	アド
切り抜き	海鮮丼	和風レストラン きた川	○	
切り抜き	南蛮エビ天丼	食事処 大瀬	×	岩崎
切り抜き	南蛮エビ天丼(甘海老丼)	居酒屋 源兵衛	×	岩崎
切り抜き	南蛮エビ刺身定食	上乃家旅館	×	岩崎
切り抜き	南蛮エビ網焼きプラン	フォッサマグナ温泉 ホテル糸魚川	○	
切り抜き	南蛮えびづくしプラン	ペンション・クルー	○	
切り抜き	南蛮エビケーキ	笹倉温泉 龍雲荘	△	
切り抜き	地魚満喫プラン	天下の饗 親不知観光ホテル	×	岩崎
切り抜き	南蛮エビのミルフィーユ	ホテル国富 翠泉閣	△	アド
切り抜き	南蛮エビたまごドーフすたんだあとプラン	焼山温泉 清風閣	△	アド
切り抜き	南蛮海老のペスカトーレ	パブレストラン カブリーノ	△	小林
切り抜き	糸魚川南蛮エビのクリームパスタ	ポツチャリノ	△	松下
切り抜き	糸魚川南蛮エビの岩塩ラーメン	"美食 美酒だんらん"いっさく	○	
切り抜き	ジオパークひすいラーメン	類家 なりた	△	アド
切り抜き	南蛮エビカレー	ラーメンとん太 運台寺パーキングエリア店	×	岩崎
切り抜き	南蛮エビカレー	がらっとカフェ	△	東野
切り抜き	海老ラーメン	おっちゃんラーメン	△	アド
切り抜き	まるごと南蛮エビフライ	だいにんぐばー 徳菜光 糸魚川店	△	廣川
切り抜き	南蛮エビと旬野菜のヨーグルトソースサラダ	肴菜や	△	アド
切り抜き	南蛮海老のっぺい汁	割烹 春よし・味処花むら	△	アド
切り抜き	オリジナル南蛮エビ丼 糸魚川三味	地魚料理 翠家かわせみ	×	岩崎
切り抜き	南蛮エビのしやぶしやぶ	居酒屋 多量	×	岩崎
切り抜き	南蛮エビの白根昆布メ	海浜料理 菅野	△	アド
切り抜き	えびちゃんかまこ	居酒屋 つるまる	○	
切り抜き	南蛮エビとエリンギの海鮮ピザ	ひすいの海	△	アド
切り抜き	糸魚川産南蛮海老どか盛り	糸魚川カントリークラブ	×	岩崎
切り抜き	南蛮エビマヨネーズ炒め	居酒屋 楽々	×	岩崎
全体写真	おまかせご膳	そば処 金七	△	アド
全体写真	南蛮エビフルコース	すし廣	△	アド
全体写真	刺身定食	食堂 源海	△	アド
全体写真	南蛮えび浜ご膳	割烹 倉また	△	アド
全体写真	南蛮エビづくし定食	あおい食堂	×	岩崎
切り抜き	昔ながらのおかし 南蛮エビ	網お米の配達人	○	
切り抜き	越後糸魚川南蛮エビクッキー	イチコ洋菓子店	×	松下
切り抜き	南蛮エビクッキー	フェルエッグ	×	松下
切り抜き	南蛮エビふりかけ	ペンション・クルー	×	松下
切り抜き	エビちゃん飾台	園田工務店	○	
切り抜き	エビちゃんストラップ	㈱アドクリーク	○	
切り抜き	えびちゃんかまかつ	(有)一印かまぼこ店	△	
切り抜き	漁師が作った南蛮エビの食べるラー油	居酒屋 楽々	○	松下
切り抜き	エビTシャツ	ファッション&ゴットシヨップ パンビ	×	松下
切り抜き	南蛮エビ刺身	ハビー姫奈川店	○	
切り抜き	南蛮エビ刺身	林食料品店(スパー・マル)	×	松下

[前回理事会・審議での質問・意見への回答・経過]

[Q-1] 井伊副委員長

(質問) B2 サイズのポスターの用途として企画演出費もしくは広報費のどちらに当たるのか、
分かり難いので説明して頂きたいと思います。

[A-1] 東野副委員長

(回答) 内容として企画演出の要素が強いため、企画演出費で計上させて頂きました。

(経過) 企画演出の要素が強いため、企画演出費とさせて頂いています。

[Q-2] 松沢委員長

(質問) タイムスケジュールの 20:15 からの糸魚川市長による認定式について、
「案」となっていますが、実現出来なかった場合の代案は考えているのでしょうか。

[A-2] 恩田委員長

(回答) 交流観光課から認定そのものには内諾頂いているので、万が一参加頂けない場合は市の親善大使、イメージキャラクターとして認定されたことを報告するための演出を委員会にて行いたいと考えています。

(経過) エビちゃん・ムキ美ちゃんの親善大使の認定については、事前に市・交流観光課からは内諾をいただいておりますが、確定までの確認には至っておりませんでした。結果として、市公認という形には至れなかったもので、急きょ（社）糸魚川青年会議所が認定する親善大使という形をとることにしました。反省点としては、市役所との連絡をもっとこまめにするべきであったと考えますが、改めて考えてみますと、行政からの認定をとることよりも、市民に認めてもらうことのほうが重要であることに気づかされました。市民に認めら、地域を盛り上げることのできるキャラクターになってこそエビちゃんであるため、今後は今まで同様各イベント等でのPRを続けてまいりたいと考えます。

[Q-3] 網島副委員長

(質問) 事業内容において、「案」という形が多いように感じます。
来月ではなく、今月審議上程した理由について教えて下さい。

[A-3] 恩田委員長

(回答) 例会までにパンフレット作成、配布し観光の礎が整った状態に持つていくため1カ月前倒しで上程しています。案となっていますが、現段階でほぼ実現可能であることを御理解頂きたいと思います。

(経過) 審議時において「案」という項目が多い事業内容タイムスケジュールであったが、審議後おおむね予定通りに開催できました。県知事への参加要請が議会開催中ということもあり、お越しいただけませんでした。当日メッセージを頂き代読させていただきました。またエビちゃんの歌もお披露目し合唱することができました。

[まち室 10 例会報告－資料]

【ハイパーレジャー創造委員会】

18. [報告]

本年度の「越後・糸魚川 南蛮エビ プロジェクト」の活動を、ご来場頂いた皆様にご理解頂くと共に、「南蛮エビ日本一のまち」として意識の向上を図ることが出来たと考えます。

糸魚川南蛮エビの価値観を向上させる為に認定証制度を確立させることと、交流人口の拡大に向けてパンフレットを作成し活用することの趣旨を、ご来場いただいた企業、団体、行政の皆様にご理解を頂けるように演出しました。また、このプロジェクトは青年会議所独自の事業ではなく、戦略会議プロジェクトメンバーの皆様と協働（協同）して一緒につくり上げたものであり、ひとりよがりではないまちづくり活動であることが、説得力に繋がったものと考えます。今後関係してゆく民間企業の皆様には、観光の礎、受け皿としての責任を深く感じて頂けたのではないかと考えます。

反省点としては例会の準備に取り掛かるのが遅く、例会日が近づいてきてから徹夜の日が続き、室メンバーに負担をかけてしまいました。もっと早い段階で委員長から室メンバーにイメージを伝えるべきであったと考えます。参加案内への動きも遅くなり、計画人員数に満たない結果となってしまいました。参加者へのアプローチの甘さが露呈し、反省しております。直接お伺いを立て、参加を促す事が重要だったと考えます。

会場との打ち合わせの際には、事前に詳細を記した資料を会場側に渡して臨みましたが、計画の甘い箇所もあり、若干の差異が生じました。審議上程の段階から細部にわたり想定するべきであったと反省しております。

しかし、この例会を受け、参加者はもちろん、外部団体やメディア等から反響を頂き、この例会が「糸魚川＝南蛮エビ」として更なる高みに近づけたものだと感じております。50店舗の民間企業より認定店にご参加いただきましたこと、講習会という位置づけにしたプレゼンに前日のリハーサルと当日の本番を含め43店舗の方々よりご参加いただきましたこと、市民より「南蛮エビの歌」を作っていただきましたこと、など、青年会議所のみならず多くの方々よりご賛同とご協力をいただきました。今までの活動を踏まえ「南蛮エビ日本一のまち」を実現すべく、今後も邁進していく所存であるとともに、さらなる協働（協同）のまちづくりを実現したいと考えております。

最後に、LOMメンバーとまちづくり室メンバーの皆様には、多大なご協力をいただき、大変深く感謝しております。メンバーと連日連夜、事業を達成させる為に頑張った事は大変感銘を受けております。それらを通じて、「仲間」というものを勉強させていただきました。この感謝の念を次に繋げ、「仲間」の輪を広げてゆきたいと考えます。本当にありがとうございました。

社団法人 糸魚川青年会議所

NEXTまちづくり室

ハイパーレジャー創造委員会 委員長 伊井 浩太

[まち室 10 例会報告－資料]

18. 報告

【発信委員会】

今例会では糸魚川地域への交流人口の拡大に向け、「糸魚川南蛮エビ」のブランド化を図るために、認定証制度の設置と観光客の受け入れ整備をはじめ、これまでの活動（創造活動・発信活動）を対象者（民間企業・団体・行政・メディア・発信力のある方々）に周知しました。

それぞれの委員会の役割として、ハイパーレジャー創造委員会は認定証制度を確立することと、認定店を発信力のある方や旅行関係業者に紹介するということを、NEXTいといがわ発信委員会は「南蛮エビのまち糸魚川」という意識をより一層持つてもらうために、これまで動いてきた発信活動を紹介するとともに、発信力のある方や交流人口の拡大に結び付く旅行関係業者の方をお招きすることでした。例会内において、「エビちゃん珍道中」の様子を動画にて紹介したり、PR活動の際に活躍したエビちゃん・ムキ美ちゃんの紹介をしたり、演出にもこだわりながら来場者に伝わるように努力しました。

反省点としては全体を通して、当日に至るまでの準備不足が露呈された形となり、8月理事会において審議通過したにも関わらず、その後の動きが遅く、日が迫ってから準備に取り掛かったことで「参加員数結果」や「委員会メンバーへの負担」「伝える内容」などに影響が出たと考えます。当日までのスケジュールと当日のタイムテーブル等をしっかり計画したうえで臨むべきであり、委員会運営をするにあたり、「役割の把握と適材適所」「采配」と「進捗状況の確認」が必要であったと考えます。細かな分野においては、参加声掛けについて多くの課題が浮き彫りになりました。距離や開催日などの物理的要因もさることながら、お声掛けを始める期間が遅かったこと、相手に趣旨や内容がしっかりと伝わるように説得するべきであったこと、面識のある方のみではなくさらに多方面の方々にお声掛けするべきであったと考えます。また、エビちゃん・ムキ美ちゃんの親善大使の認定について、市公認という形を目指していたのですが、結果として公認をとることができず、（社）糸魚川青年会議所が認定する親善大使という形をとることにしました。市役所との連絡をもっとこまめにするべきであったと考えます。しかし、行政からの認定をとることも大事ですが、市民に認めてもらうことも重要で、地域を盛り上げることでできるキャラクターになってこそエビちゃんであるため、今後は今まで同様各イベント等でのPRを続けてまいりたいと考えます。

効果のあった点としては、三愛旅行者様やリクルート様やセーブオン様などよりご来場いただくことができたことや泉田新潟県知事様よりお祝いレターをいただけたこと、米田市長様や多くの地域関係者よりご参加いただいたこと、など影響力のある方より反応があったことをうれしく思います。

来場者には本来の目的である創造委員会はこれまでの取り組みを外部の方へ、発信委員会はこれまでの活動を市内の方へ伝えるという目的は達成できたと感じています。今後も「越後・糸魚川 南蛮1エビ プロジェクト」のさらなる発展を目指し、関係各位と協力しながら日本一のまち目指して活動してまいります。室以外のメンバーにもご協力いただき、外部から参加いただいた方からも大変好評いただきました。ご協力とご声援、誠にありがとうございました。

社団法人 糸魚川青年会議所

NEXTまちづくり室

NEXTいといがわ発信委員会 委員長 恩田 大士

《越後・糸魚川 南蛮エビ 決起集会》

～報告資料～

- [事業目的] 糸魚川「南蛮エビ」たった一つの強烈な魅力が日本一に向けて動きだし、南蛮エビの「食」の可能性、価値を再認識し、協働（協同）団体との意思の疎通を図り、「南蛮エビ のまち糸魚川」への意識の向上を図ります。
- [実施日時] 2010年 3月 29日（月）19:00～21:00
- [実施会場] ひすい王国館 2F ホール
- [事業主催] （社）糸魚川青年会議所 NEXTまちづくり室 ハイパーレジャー創造委員会
- [外部協力] 上越漁業協同組合、新潟県農林水産部水産課、新潟県南蛮エビブランド化推進協議会、すし廣、㈱ナカシマ、地魚料理 かわせみ、パブ&レストラン カプリーノ
- [参加者] 糸魚川市長米田様、糸魚川商工会議所会頭高瀬様、すし廣吉田様、㈱ナカシマ中島（悠）様・中島（康）様、地魚料理かわせみ龍見様、小林様、新潟県農林水産部水産課大江様、糸魚川市商工観光課金子様、糸魚川地域振興局振興課玉谷様、糸魚川市議会議員田原様、糸魚川商工会議所山岸様・荻野様、糸魚川市観光協会山下様・大久保様、能生町観光協会様、上越漁業協同組合小野様・磯谷様・塚田様・笠原様、糸魚川うまいもん会月岡様、新潟県南蛮エビブランド化推進協議会金子様、寿司組合仲林様・渡辺様、まちの駅プラット五十嵐様、糸魚川温泉連絡協議会笹倉温泉様・焼山温泉様、糸魚川信用組合早津様・松木様、糸魚川法人会歌川様・永江様、まちづくりサポーターズ五十嵐様・磯谷様・土田様・中村（良）様・小坂様・中村（恵）様・山本様・田野様、糸魚川ロータリークラブ斉藤様、糸魚川中央ロータリークラブ月岡様、ハイヤー協会猪又様、糸魚川J.C.シニアクラブ永野様・小島様・廣瀬夫妻様・青木様、駅北まちづくり実行委員会白澤様、新潟県立海洋高校猪又様、上越タイムス社石黒様、新潟日報社加藤様、読売新聞鳴海様、朝日新聞遠藤様、㈱新潟総合テレビ（NST）長谷川様2名、㈱新潟放送（BSN）太田様2名、㈱三愛旅行社片山様、㈱テレビ新潟放送網（Teny）佐藤様3名、㈱原信才川様、㈱平塚様、（名）マルニ林食品店林様、道の駅市振（㈱）タブの水平野様、㈱能生町観光物産センター八木様、㈱後藤組後藤様、糸一印（㈱）糸魚川魚市場金子様、㈱明星セメント田代様・小野様、（資）紅久安田様、フェルエッグ渡辺様、居酒屋一作竹内・笹川様、麵家なりた成田夫妻様、居酒屋多喜滝様、居酒屋鶴丸様 78名
他糸魚川青年会議所猪又理事長含む31名
（合計 109名）

[スケジュール]

19:00 開 会	20:00 試食会
19:01 （社）糸魚川青年会議所 猪又直登理事長 挨拶	⑤南蛮エビ「食」の可能性、価値、試食会
19:10 ハイパーレジャー創造委員会 伊井浩太委員長 挨拶	(1) 糸魚川産 VS 北海道産 VS 冷凍輸入
19:15 来賓紹介	(2) 寿司の試食
19:16 来賓者代表挨拶	(3) 糸魚川産南蛮エビの「究極のメニュー」
①糸魚川市長 米田徹様	創作料理の紹介
②糸魚川商工会議所会頭 高瀬衛様	洋食の鉄人「南蛮エビのマリネ風」（カプリーノ）
19:25 NEXT まちづくり室が目指す「まちづくり」について	和食の鉄人「南蛮エビの南蛮味噌和え」（かわせみ）
①日本一のまち糸魚川への期待	和食の鉄人「南蛮エビしんじょゆば包みエビ」あんかけ
②1、2月活動報告	（すし廣）
③南蛮エビ物語	菓子の鉄人「南蛮エビのキッシュ」（ナカシマ）
(1) 磯谷様のお話（能生支所の漁師さん）	20:30 アンケート用紙記入（アンケート）
(2) Drive A Go Go（1月撮影）の上映	20:40 最後に… 伊井浩太委員長
④糸魚川南蛮エビ 日本一の根拠	20:40 副理事長挨拶 岩崎智副理事長
(1) 新潟県水産海洋研究所での調査結果	20:50 閉 会
(2) 事前モニター調査結果（“街なかお披露目市”にて）	21:00 懇親会 ひすい王国館 2F

[事業検証]

進行においてはほぼタイムスケジュール通りに進めることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。
事業・懇親会共に席のご案内等、設営に際しましてこちらの不手際により多々ご迷惑をおかけし点がありました。
深くお詫び申し上げますと共に今後変わらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。
また、南蛮エビの仕入れ等につきましては、上越漁業協同組合様と新潟県南蛮エビブランド化推進協議会の方々より、料理の提供については、すし廣吉田様、㈱ナカシマ中島様、地魚料理かわせみ龍見様、パブ&レストランカプリーノ小林様にご協力頂きました。メンバー一同熱く御礼申し上げます。

[その後]

既に各報道機関より新潟県内へニュースとして配信されております。

（TV） NST 3月30日（火） 11:45 県内ニュース

（新聞） 上越タイムス・新潟日報・読売新聞 3月31日（水） 朝日新聞 4月1日（木）

[写真集]



3. [事業目的]

糸魚川「南蛮エビ」たった一つの強烈な魅力が日本一に向けて動きだし、南蛮エビの「食」の可能性、価値を再認識し、協働（協同）団体との意思の疎通を図り、「南蛮エビのまち糸魚川」への意識の向上を図ります。

4. [実施日時]

2010年 3月 29日（月）19:00～21:00

5. [実施場所・会場]

ひすい王国館2Fホール

6. [決算書総額]

¥279,262 (¥335,000)

7. [外部協力者・協力種別]

新潟県南蛮エビブランド化推進協議会、上越漁業協同組合、新潟県農林水産部水産課、
その他（資料② 出席者名簿）

8. [参加員数計画／結果]

総員数（計画） 105名（内訳）委員会 10名、ロム40名、その他55名
総員数（結果） 105名（内訳）委員会 8名、ロム22名、その他75名

9. [実施組織・体制]

実施統括責任者 岩崎智（副理事長兼NEXTまちづくり室室長）
実施委員長 伊井浩太（ハイパーレジャー創造委員会委員長）
実施委員会 ハイパーレジャー創造委員会
実施体制 NEXTまちづくり室 合同事業体制

10. [事業内容、及び、タイムスケジュール]

19:00 開 会
19:01 （社）糸魚川青年会議所 理事長 挨拶
19:10 ハイパーレジャー創造委員会 委員長 挨拶
19:15 来賓紹介
19:20 来賓者代表挨拶
①糸魚川市長 米田 徹様
②糸魚川商工会議所 高瀬 衛様

19:25 NEXT まちづくり室が目指す「まちづくり」について

①日本一のまち糸魚川への期待

②1、2月活動報告

③南蛮エビ物語

〈1〉磯谷様のお話（能生支所の漁師さん）

〈2〉Drive A Go Go（1月撮影）の上映

④糸魚川南蛮エビ 日本一の根拠

〈1〉新潟県水産海洋研究所での調査結果。

〈2〉事前モニター調査の発表（試食）“街なかお披露目市”にて調査。

20:00 試食会

⑤南蛮エビ「食」の可能性、価値、試食会

〈1〉糸魚川産 VS 北海道産 VS 冷凍

〈2〉寿司の試食

〈3〉糸魚川産南蛮エビの「究極のメニュー」創作料理の紹介

洋食の鉄人 「南蛮エビのマリネ風」（カプリーノ）

和食の鉄人 「南蛮エビの南蛮味噌和え」（かわせみ）

和食の鉄人 「南蛮エビしんじょゆば包みエビ あんかけ」（すし廣）

菓子の鉄人 「南蛮エビのキッシュ」（ナカシマ）

〈4〉活用方法の模索、各種団体の気運の向上

20:30 アンケート用紙記入（アンケート）

20:40 最後に（伊井委員長より）

20:50 閉 会

21:00 懇親会 ひすい王国館2F（会費；¥4,000）

1.1. [報告のポイント]

① 10 創造 - 03 事業 - 検証チェックシート

1.2. [前回理事会・審議での質問・意見への回答・経過]

① 資料(5) 前回理事会・審議での質問・意見への回答・経過

1.3. [本年度の工夫と期待される効果]

たった一つの強烈な魅力を「南蛮エビ」として、観光の礎と意識を定着させる為には、行政、団体、企業、市民が一体となって活動していく必要があると考え、当委員会は1月、2月と各団体との意思の疎通、意識の向上、南蛮エビの根拠を動機づけて

いきたいと考えています。

それらを受け、本事業では、活動報告、根拠を明確にして更なる意識の向上を図りたいと思います。その為に、実際に南蛮エビの「食」の可能性を体験していただきたいと考えます。その上で、「南蛮エビのまち糸魚川」として、市内はもとより、全国に打って出る自信に繋げていきたいと考えます。

1 4. [依頼事項]

本事業を迎えるに辺り、ロムメンバーに演出のご協力を頂きました。皆様が「たったひとつの強烈な魅力」の印象を来賓者の皆様に伝える事が出来ました。

1 5. [添付・配布（回覧）資料]

①資料① 決算書

②資料② 出席者名簿

③資料③ 10 創造 03 事業検証チェックシート

④資料④ 10 創造 03 事業アンケート結果

⑤資料⑤ 前回理事会・審議での質問・意見への回答・経過

⑥資料⑥ 決起集会-報告書 外部用

（4 月下旬までに、参加者へ御礼文とともに配布）

⑦資料⑦御礼文（4 月下旬までに配布済み）

1 6. [報告]

糸魚川を日本一のまちとして目指すに辺り、「たった一つの強烈な魅力」＝南蛮エビとして、行政、企業、団体、市民の皆様にご提案し、糸魚川南蛮エビが日本一を目指せる根拠を参加いただいた皆様に理解を頂いた内容になったのではないかと思います。

1 月～3 月までのまちづくり室の動きとして、「南蛮エビ戦略会議」を3 回に渡り行い、日本一にする為には、協働（協同）するまちづくりの提案、南蛮エビが日本一になる為の意見を皆様から頂く事ができ、3 月事業「越後・糸魚川 南蛮 1 エビ決起集会」を迎える事が出来ました。室メンバー全員のお声掛けや、委員会での積極的な意見交換を通し、日本一のまちを目指す気持ちが会全体に広がったのではないかと感じております。

若干、メンバーの周知の対応に追われてしまった部分や、計画を立てる際の見積りの甘さを反省する部分ではないかと思います。他に細かいところを申し上げますと、懇親会での席次を、会場側との綿密な打ち合わせが出来ていなかったことから、当方で作成した会場図と、事前に設置して頂いたテーブルのレイアウトが一致しておらず、結果、懇親会にご来場いただいた皆様に混乱を招いてしまったこと。来場者の正式な団体名や、ご参加いただく方のフルネームをしっかりと明示できていなかったことなど。今後この反省点を改善することと、更に設営等の精度を上げることで、来場者に対して恥ずかしくない運営

をしてまいりたいと思います。ですが、室メンバーの皆様が「日本一」を達成するために、計画以上の内容になったと私は感じております。ただし、この3月事業はあくまでも、「決起集会」としての位置づけであり、ここからの、動きが重要だと考えております。市民の皆様には、周知するためには、どういった工夫が必要か、他地域との差別化を計る為には、今後の「動き」が重要だと考えております。他の真似できない内容で、如何に、糸魚川の知名度を上げ、市民の愛着へ繋げていくかが、この事業を行った意味に繋がっていくのだと思っています。

最後に、当日のメンバーの皆様のご協力がなければ、この事業は達成できませんでした。まちづくり室を代表して感謝いたします。

担当委員会・事業評価チェックシート

チェック項目	検証のコメント	評価 (3段階)
	委員会/副理事長・委員長・委員会メンバー	○ △ ×
実施日時、場所は適切だったか？	日時は例会であるため、適切だったと思います。場所についても多くのメンバーに出席していただけたため、特に問題なかったと思います。	○
実施組織、体制は適切だったか	NEXT!といがわ発信委員会にもご協力いただき、室合同体制で行えたため、準備、進行ともスムーズに行えました。また、メンバー全体のご協力を頂け、スムーズな進行が出来ました。	○
参加人員計画に対する実績参加人員の割合は	結果: 110名(委員会 8名、ロム 23名、その他 79名) 想定: 105名(委員会 10名、ロム 40名、その他 55名) =104.7%	○
参加人員計画が適切であったか	メンバーの皆様のお声かけにより大変多くの参加をいただきました。	○
実施計画、スケジュールリングは適切だったか	当初の計画より、演出にこだわり、皆様にとっても苦勞をおかけしましたが、当初の計画にプラスαを付け加える事が出来たかと思います。	○
目的に沿った事業内容だったか	出席者の反応、TV放映、新聞記事等により、糸魚川＝南蛮エビの意識が向上されたかと思います。	○
タイムスケジュールは適切だったか	皆様のご協力の賜物で、時間内に終わりました。	○
広報計画は適切だったか	参加予定者リストを作成し、お声掛けの部分で皆様にご協力を頂きました。	○
予算編成は適切であったか	予算編成の計画が弱かったと反省しております。全体の予算に収まったのが唯一の救いではないかと思います。ですが、今後は、細かい所まできちんと予算を立て実行していきたいと思っています。	×
安全計画が適切であったか	試食を行うという事で、保健所への申請、イベント保険の加入など万が一に備えて、事業ができました。	○

3月29日開催 越後・糸魚川南蛮エビ決起集会アンケート結果

1. この事業で実際に南蛮エビを食べていただき、『糸魚川南蛮エビ』の可能性・価値を再確認することができましたか？

はい	63		いいえ	0
----	----	--	-----	---

2. (社)糸魚川青年会議所が目指すプレゼンテーションを受けて、『糸魚川南蛮エビ』のブランド化の意義をご理解いただけましたでしょうか？

はい	63		いいえ	0
----	----	--	-----	---

3. 糸魚川南蛮エビは『日本一』を目指せると思いましたか？

はい	59	どちらともいえない	4	いいえ	0
----	----	-----------	---	-----	---

4. 日本一を目指すにあたり、(社)糸魚川青年会議所の活動を応援していただけますか？

はい	63		いいえ	0
----	----	--	-----	---

5. (社)糸魚川青年会議所の活動にご意見やメッセージがございましたらお聞かせ下さい。

○頑張ってください。素晴らしい企画です。早く日本一になれるよう、みんなでもりあげたいと思います。

○シンプルな食べ方で、塩焼き、てんぷらが良いと思います。いろいろなPRがあると思いますが、水族館(エビのみ)など、駅弁も良いと思います。また、パーキングでは天井などいかがですか？

○アンケートの取り方⇒今すぐ商品化して欲しいものは？ ⇒いくらなら買いますか？
トウモロコシも美味しい糸魚川湯葉を組み合わせるのも一考。

○情報発信は地元から。地元の認知が必要。

○エビちゃんブログ拝見しています。皆さんとってもがんばっていますね。
糸魚川南蛮エビは日本一

○全国に向けて南蛮エビの糸魚川の確立に頑張ってください。
南蛮エビの更なる可能性を引き出してください。

○やっている人たちが本気なら皆で一緒に出来ると思います。一年間精一杯引っ張ってください。
しかし、相変わず司会は下手ですね。

○お互い頑張りましょう。メンバー同志お互いガンバレ！メンバー全員で新しい価値を共有してください。OBより

○糸魚川の甘エビの違いを商品に添えてPRすることが大切ですね。新たな認識ができました。
本日の創作料理おいしかったです。

○NO1目指して市民一体となって

○県外の親戚・友人に南蛮エビをCOOLで送ることがあるのですが、もっとも美味しく食べて頂く、
かつ、簡単なオリジナル料理法レシピをHPからすぐ印刷できるようにしていただければ有難い。
・南蛮エビづくし期間限定フェアの毎年開催

・わんこそば合戦ならぬ南蛸エビ食合戦トーナメント 夏祭りおまんたにあわせて

○スタッフの情熱が成功を保障しています。

○市外・県外・県内の各イベントにも積極的にでてPRを！！

○イベントの内容といい、料理といい素晴らしかったです。本日のイベント開催にこぎつけるまで、大変なご苦勞が合ったと考えます。これからも大変だと思いますが、私どもも全面的に協力申し上げます。 NST長谷川

○えらい人ばかりでなく、ぜひ一般の人にも味わってもらえる企画を！！

○試食についてすぐにでも商品化するべきと思う。

○アイディアの豊富さ、奇抜さに驚きました。今後の活動に期待しています。
特にエビしんじょうとパイが美味しかったです。

○試食はどれも美味しく頂きました。それと、他地域産の南蛸エビの食べ比べも意外なほど違いがわかり、このような会の方法は気に入りました。

○南蛸エビは中・下越のブランドと思っていた。フンドシを閉めて頑張ってください。

○南蛸エビの生理活性作用については、個人差等も考慮され、これをPRに使用する場合は慎重にされたほうがよいのではないか。試食間のインターバルが短く、ゆっくり味わえなかった。

○飲食店としては、南蛸エビは足が早いというリスクがあるので積極的に取り組むためには特別に提供してもらうわけにはいかないでしょうか

○食の観光では、なんと言っても魚。その中で南蛸エビは確かに王様。アンコウはその補完。二つはいけないですかね。もうひとつ。青年会議所は地域の将来を担う。ハード面で駅北の都市構造改革にご尽力ください。

○料理の素材としていろいろ提案できれば良いかも。

○エビの安定供給(価格の量)。スーパー用の南蛸エビシールの作成。県外客をターゲットにすることも良いが、地域住民がよく食べていることが必要と思います。

○中嶋さんのスイーツが一番美味しかったです。一番食べたときの創造が違ってよかったです。

○試食して、それぞれの分野でエビの素材を上手に生かしているのに感動です。
南蛸エビと糸魚川を大いに知らしめましょう。

○大変美味しく頂きました。家庭でも簡単に作れるレシピを教えてください。

○イベント開催時間はしっかり守る。新しい風を起こす土台と考えます。
『日本一』最善キーワード。必ず実現するとの思いを共有し、行動することを期待します。
ジオパークフェアを企画し、この中にエビを大きな柱としたら・・・

○継続をお願いします。

○とても美味しかった。色々料理の工夫は評価するが、やはりエビの姿を見せ、味もシンプルな方がいい。大いに糸魚川の味として全国に売って欲しい。

○小・中学校にもこのことを知らせて欲しい。主婦の感覚も入れた視点も必要だと思います。
エビという食材の広がりを感じました。まずエビの消費拡大を目指しましょう。

○一過性でなく、継続した事業となるよう余韻を残してバトンタッチを。

○世界ジオパーク認定と同時期にこのプレゼンテーションは大きな成果が期待できる。

○良いプレゼンでした。料理の種類については難しい食材と思うが、エビは皆、手軽に食せるのでガンバってPRして欲しい。

○今後も元気いっぱい頑張ってください。

○これだけの事業を準備されたことに感謝いたします。

○応援します。頑張ってください。地域の力を結集してNO1を目指しましょう。

○交流人口拡大を目指すとともに、一般市民にも気軽に参加できる場面を提供していただき、市内の交流人口の家政科にも同時に図っていくべき。

橋立（質問） 「16.その他」に JC メンバー向けのおもてなし勉強会とあるのですが、どのような
で行うのかお聞かせ下さい。また、創造委員会がメンバーに向けて行う勉強会という
とでよろしいでしょうか。

伊井浩（回答） 当日、とても大勢の方をお呼びするのでメンバーの皆さんにはホスト役として動い
頂きたいと考えています。そのための打合せを行う意味でもおもてなし勉強会の項目
入れました。また、勉強会については、新年会の勉強会をイメージして貰えると分か
やすいかと思います。

報告 当日は皆様にホスト役として、来場者の皆様をおもてなしする事ができ、日本一を会
体で目指す意気込みにつながったのではないかと思います。

山本（質問） ステッカーの見積が出ているのですが今パソコンに貼ってあるものなのでしょうか
(まちづくり室メンバーが自分たちで作成したシールをパソコンに張っていた) また、
ステッカー、のぼり旗、着ぐるみは今回で使い切りなのでしょうか。

伊井浩（回答） ステッカーに関しては、今パソコンに貼ってあるものではなく、別のものを用意しま
す。また、資料⑩に参加イベント予定リストが添付していますが、そちらで着ぐるみ、
のぼり旗を活用していきたいと思っています。ステッカーに関しては、外から来た人の
目を引くものになればいいなと思っており、ハイヤー協会に依頼してタクシーに貼っ
頂く形で進めています。本日も小型タクシーの専務にお会いして依頼をし、良い反応を
頂いています。ステッカーの見積に関しては、普通のステッカーだと痕が残ってしまう
ため、太陽光をそのまま吸収するタイプのシールとし、痕が残らない形のものを選定し
ています。

山本（意見） 年間で使われるということであれば、ステッカー、のぼり旗、着ぐるみに関しては年
間事業として今回とは別に上程した方が良いのかなと思いました。

岩崎（回答） どちらが良いか考慮しましたが、今の段階から協議、審議ということになると非情に
動きが遅くなってしまいます。のぼり旗に関してもこの事業から動きたいと思っていま
すし、ステッカーに関してもハイヤー協会さんからも内諾頂いていますので今回の議案
に盛り込んでいます。

猪又直（補足） 時間的な問題もあるのですが、今回の事業においてメインで使われることが大前提で
あると執行部内の説明で聞いているので今回上程させて頂いています。

山本（意見
+質問） 時間的な部分に関しては理解できるのですが、そうであればこそ前回きちんと上程さ
れるべきだったのかなと思いました。きちんと無駄にならないように活用して頂きたい
と思います。

報告 5月1日にハイヤー協会会長猪又眞澄氏ご同行の元、糸魚川のタクシーにステッカーを
張っていただきました。

山本（質問） 前回協議の際、メンバーを飛ばさないようにして頂きたいとお願いしたかと思えます。1月25日に行った説明会に参加されなかった方へのフォローをどのように行っているのでしょうか。

伊井浩（回答） 全員はいなかったのですが、2月例会の際に報告させて頂き、分からない方、資料等欲しい方は私宛にと声を掛けさせてもらいました。私なりには伝えつつもりですが、理事メンバーの皆さんも委員会に持ち帰って頂き、資料等欲しい方がいればいくらでも用意しますのでご協力よろしくお願い致します。

山本（意見） 私自身は、各委員会に乗り込んでメンバー全員に今年一年間エビで行くのだというのを理解して頂くというイメージを持っています。建物で言うと基礎がメンバーの皆さんだと思っていますので、それをなくしていくら外部の評価が良くてもいずれ傾きかねないということを危惧しています。ぜひ、委員会に出向いて思いを伝えて頂きたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

伊井浩（回答） 前回の例会において説明させて頂いた際に一人も私の所に来て頂いた方がいませんでした。少しでも反応があったらなと残念に感じております。ただ、私自身の配慮、思いやりが足りなかったのかなとも反省していますので、意見を参考にして声掛けをしていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

猪又直（補足） ホームページやブログを使って紹介したり、新聞の記事等もeデスクを使って皆に周知したりと何も報告を行っていないわけではありません。また、理事の皆さんもきちんと委員会に持ち帰るということも一つの仕事となります。それを踏まえた上できちんと情報共有して頂ければと思っています。山本局長のお話も非常に重要なことでやり方とうということではなく、きちんと相手に伝わるようにしてもらいたいといった要望になるかと思っていますのでよろしくお願い致します。

小川（意見） 今ほどのやり取りを聞いていましてNEXTプレーンとしても総務室としてもお互いに協力しながら我々もフォローしていくべき部分なのかなと思いました。

報告 理事メンバー並びにメンバーの皆様の引き続きのご協力をお願いいたします。新入会員のフォローなど。

猪又貴（質問） 予算書の演出費に小南蛮エビとありますが、こちらも比較対象として必要なのでしょうか。また、北海道産南蛮エビ10,000円というのはおおよそ10,000円かかるということなのでしょうか。

伊井浩（回答） 調理協力者の方々とこれから打合せをしていきたいと考えている中で、卵付きのものだけでなく良いという場合もありますし、小エビだけでよい料理も出てくるかと思えます。実際、ナカシマさんは小エビだけでいけるとのことですし、その分予算が浮いてくるかと思っていますので計上させてもらいました。また、北海道産に関しては、調べた結果10,000円ということなので計上させて頂いております。ただし、価格に関しては最悪の

報告 状態を想定して少し高めに計上しています。
調理協力者の方やブランド化推進協議会等との打ち合わせをして、当日を迎えられました。

新保（質問） 予算に着ぐるみ代が入っていますが、加工されると思うので、消耗品も必要ではないでしょうか。もし、必要であれば計上した方が良いのではないのでしょうか。

伊井浩（回答） 加工費に関しては現在、委員会内で話し合い、作ったものを大切に扱う意味でも有る様に集めるように考えています。

岩崎（補足） 正直今現在決まった金額で計上するのは難しいので、予備費で対応できるようであればそのようにしたいと思います。

新保（意見） 予備費を使うというのも良いのですが、もし、今現在分からないということでも科目として 1,000 円でも 2,000 円でもきちんと計上した方が会計上は良いのではないかと感じました。

※予算書の修正について東野副委員長より説明

企画演出費／演出費／着ぐるみ（¥9,175×2 体） 金額 18,350

→企画演出費／演出費／着ぐるみ（¥9,175×2 体 消耗品 ¥20,000）

金額 38,350 と変更。企画演出費の小計 291,010

それに伴い事業費繰入収入 335,000 と変更

消耗品の内訳としては、フェルト生地、エビの触角の部分等の細かなものとなる。

報告 決算書を参考にしてください。

橋立（質問） イベント保険について、参加総員数が 105 名となっているが、参加リストを見ると内諾を頂けてない方がいます。人数の変動等で金額が変わってくるのかどうか説明をお願いします。ブレーン委員会においても、保険料の 1 人当たりの単価が 50 名以上と以下では大幅に変わってくるといったことがありました。場合によっては予算を大きく上回ってしまうことも考えられるので質問しました。こちらの保険に関しては、100 名以下の場合は、一人当たりの単価等変わってくるのか聞かせて下さい。

今現在 105 名で計上させて頂いており、100 名以上になると無制限となります。また

伊井浩（回答） 100 名以下になる予定ではないので 100 名以上での計上としています。

木島（補足） 保険にもいろんな種類があり、ハイパーレジャー創造委員会でかけているものはイベント保険になります。こちらに関しては、100 名以上でも 50 名以上でも金額に関しては問題ないかと思います。橋立出向理事が言われている保険はスポーツに関わる保険だとは思いますが、それだと人数に応じて単価が変動するといったことも考えられます。保険の種類によって変わってきますのでよろしくお願い致します。

猪又（補足） 念のため再度確認しておいて下さい。

報告 確認をし、参加動員数が増えるよう努力いたしました。

小川（質問） 実際は、名称として甘エビで行くのか、南蛮エビで行くのかは決定していないということなのでしょうか。

伊井浩（回答） まちづくり室としては南蛮エビで行く方向ですが、先日の戦略会議の際も昔から使っていた甘エビの名称をなぜ南蛮エビなのかということが多々ご意見頂きました。第2戦略会議にてしっかりと詰めていきたいと考えています。

小川（意見） 本日三条の方に甘エビと呼ぶのか、南蛮エビと呼ぶのかと聞いたところどちらも言との回答が帰ってきました。中越、下越地域は南蛮エビと呼ぶものだと言っていたのですが、実際甘エビと呼ぶ方が通りよいようであればそちらで行くのもやぶさかではないということで理解してよろしいでしょうか。

伊井浩（回答） 委員会にて海洋研究所に行く前に、甘エビについての下調べ、販売状況等を勉強致しました。今勉強したところで言うと糸魚川でとれる甘エビに関しては正式名称がホックアカエビと呼ばれるものになります。ですが、回転寿司に出ている甘エビに関してはノルウェー等から輸入しているものとなり、こちらはホンホックアカエビと呼ばれる亜種で少し種類が違ってきます。味も苦味があるようです。回覧の資料（当日回覧資料）首都圏在住の20歳以上の500人について甘エビに対するアンケート結果）でも分かるかと思いますが、甘エビの産地が分からないといった方が約6割を占めています。知っている産地が富山、北海道、石川、新潟、福井とありますがほとんどドングリの背比べになっており、どこ産のエビか分からずに食べているという現状があります。ですが、よく食べるエビ、好きなエビの一位は甘エビという結果になっています。そこで我々が導き出した答えとしてはブランド化するためにも南蛮エビで行きたいと思っています。そして一般の方にも周知できたらなと考えています。

岩崎（補足） ここ何回か委員会でも名称についての話をささせて頂きました。その中でも県の協力以前にやはり南蛮エビというブランドを作るべきだという話が出てきています。室としては南蛮エビのブランド化を進める方向で考えています。

猪又直（補足） この名称に関しては、すぐくデリケートな部分で、市民の民意、周りの反応、限られた時間の中で擦り込んでいくといった色々な制約条件の中でまちづくり室の皆さんにかなりもんでもらった内容となります。これをきちんとメンバー全員がその経緯や根拠について理解してもらえるように委員会でも徹底して頂きたいと思いますし、逆に意見の吸い上げもして頂きたいと思います。

山本（質問） 市内のスーパーやお店でどれくらい南蛮エビと呼ばれているのでしょうか。

伊井浩（回答） 今後、アンケートをとっていききたいと考えています。県の農林水産部の方と話をさせて頂いて南蛮エビは、ほぼ、県外に流出しているという話を聞きました。小さいサイズのエビに関しては地元にあるかと思いますが、大きなサイズのエビとなると食べたことのない人の方が多いのではないかと思います。そういった現状を踏まえて地産地消という部分にも踏み込んでいければと思っています。

山本（質問） アンケートをとるということですが、結果数値が多いにしろ少ないにしろ最終的に
お店に南蛮エビを置いて頂くといったところまで委員会として行いたいということであ
ろしいでしょうか。

伊井浩（回答） 今後の事業構築の中でも考えています。地元スーパー等で南蛮エビが並ぶようにな
ていけたらなと思っていますのでよろしくお願い致します。

猪又直（補足） 日本 JC の方でも 2 つの委員会にて反応頂いていますし、各団体の意見等はこのよ
うな状況で、それに対してこういう風に対応していくのだということを逐次報告をして
いたいなと思っています。